

社会資本総合整備計画(第3回変更)

賑わいの都市部エリア再構築

平成 30 年 7 月 31 日

長野県 駒ヶ根市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年 7月 31日

計画の名称	賑わいの都市部エリア再構築							重点配分対象の該当	○									
計画の期間	平成26年度～平成31年度（6年間）			交付対象	長野県 駒ヶ根市													
計画の目標	<p>大目標：都市部エリアへの都市機能の集約により、中心拠点区域の活力と賑わいを創出する。 小目標①：保育園と子育て世代活動支援センターの整備による新たな都市機能の充実を図る。 小目標②：交通網の整備による交通利便性の向上を図るとともに、歩行者にとって優しい歩行空間の充実を図る。 小目標③：災害に強く、安全安心で快適に暮らせるまちづくりを推進する。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民アンケートの「安心して子育てできる支援が整っている」という満足度を 3.11Pt (H23) を 3.32Pt (H31) 都市再生整備計画区域の子育て世代活動支援センターの利用者数を 0人/年 (H25) を5,000人/年 (H31) 地域住民アンケートの「安心して子どもを預けられる環境がある」という満足度を 3.07Pt (H23) を 3.34Pt (H31) 地域住民アンケートの「地域に安心できる防災の仕組みがある」という満足度を 3.15Pt (H23) を 3.30Pt (H31)に増加 公民館年度利用者延べ数を H24～H28年度の平均値 43,233人を維持する。 社会福祉施設利用者数を H24～H28年度の平均値 3,150人を維持する。 																	
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考								
							当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	当初現況値の基準年度								
1-1駒ヶ根市市民満足度調査により「安心して子育てできる支援が整っている」の満足度を算出する。 「安心して子育てできる支援が整っている」の市民満足度ポイント (pt)							3.11 pt	3.21 pt	3.32 pt	1-1 H23								
1-2子育て世代活動支援センター整備による年間利用者数を算出する。 子育て世代活動支援センターの利用者数 (人数/年)							0 人/年	0 人/年	5,000人/年	1-2 H25								
2-1駒ヶ根市市民満足度調査により「安心して子どもを預けられる環境がある」の満足度を算出する。 「安心して子どもを預けられる環境がある」の市民満足度ポイント (pt)							3.07 pt	3.20 pt	3.34 pt	1-3 H23								
3-1駒ヶ根市市民満足度調査により「地域に安心できる防災の仕組みがある」の満足度を算出する。 「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント (pt)							3.15 pt	3.19 pt	3.30 pt	3-1 H23								
地域交流センター整備による年間利用者数を算出する 公民館年度利用者延べ数を H24～H28年度の平均値 43,233人を維持する。							41,703人	人	43,233人/年	地域交流 H23								
社会福祉施設整備による年間利用者数を算出する つくし園への通所者延べ数を H24～H28年度の平均値 3,150人を維持する。							3,150人	人	3,150人/年	つくし園 H24～H28平均								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,831.1 百万円	A	2,806.2 百万円	B	百万円	C	24.9 百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.88%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	都市再生 整備計画 事業	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	賑わいの都市部エリア地区都市再生整備計画事業	区域面積:115.7ha 高次都市施設、 中心拠点誘導施設 地域生活基盤施設	駒ヶ根市							2,806.2	1.11		B/Cは中心拠点誘導施設つくし園
									合計						2,806.2			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31				
									合計									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-1	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	駒ヶ根駅前広場計画策定	交通結節と駒ヶ根駅前広場計画策定	駒ヶ根市							4.1	
1-C-2	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	無電柱化に伴う広小路沿道街並み計画策定	街並み計画策定	駒ヶ根市							4.2	
1-C-3	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	まちづくり計画調査	持続可能なまちづくり計画調査	駒ヶ根市							12.9	
1-C-4	地域創造支援	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	都市機能施設等評価分析に関する調査	都市機能施設等分析に関する調査	駒ヶ根市							3.7	
合計													24.9			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	(1-A-1) と一体的に実施することにより、歩行者にとって優しい歩行空間の形成への効果が期待できる。															
1-C-2	(1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。															
1-C-3	(1-A-1) と一体的に実施することにより、活力と賑わいあふれるまちづくりへの効果が期待できる。															
1-C-4	(1-A-1) と一体的に実施することにより、都市機能の集約に向けた都市機能施設等の整備への効果が実現できる。															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30	H31		
									合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

交付金の執行状況

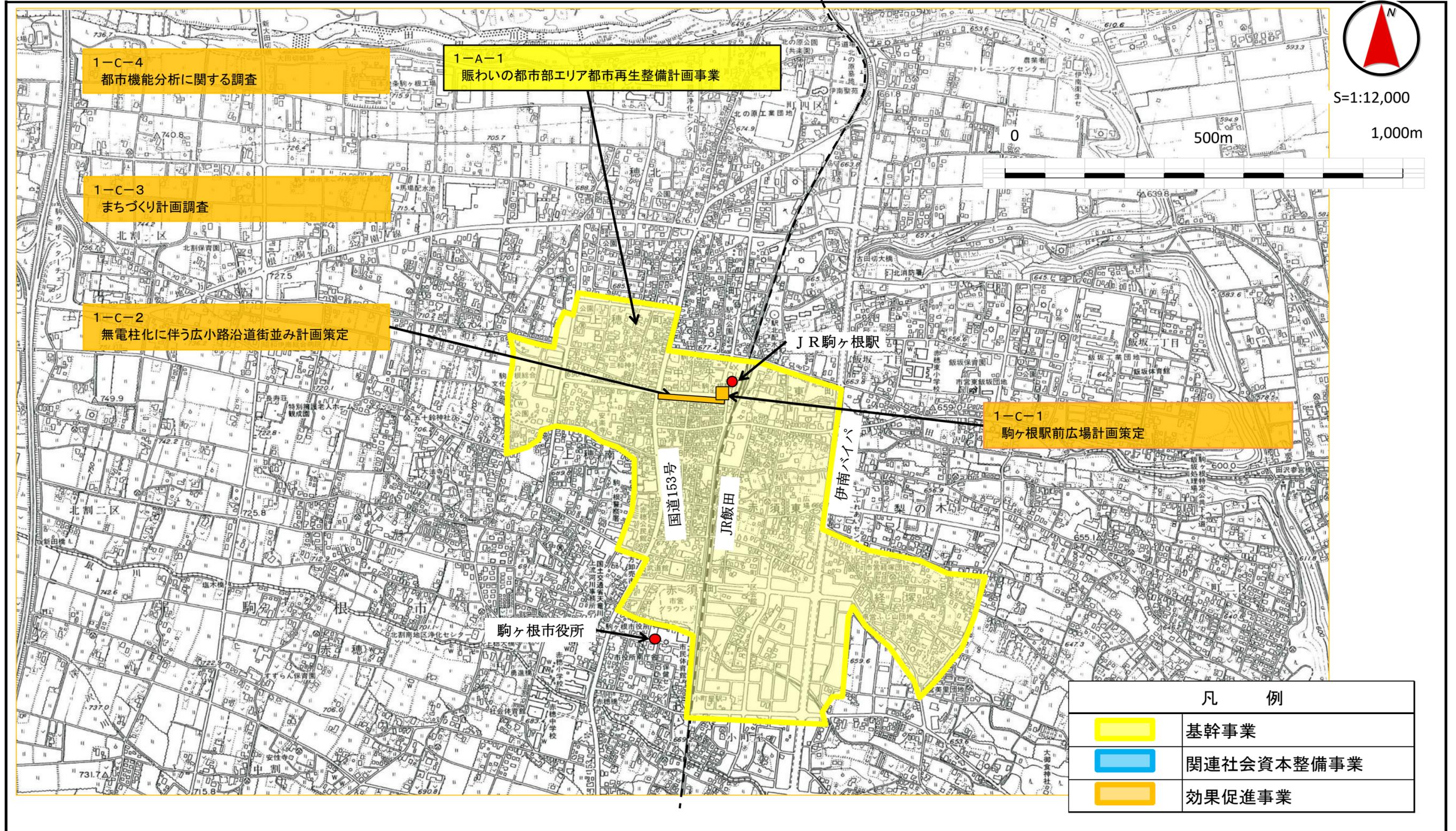
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	13	408	34	0	233	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	13	408	34	0	233	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	189	0	0	
支払済額 (e)	13	219	223	0	133	
翌年度繰越額 (f)	0	189	0	0	100	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-	

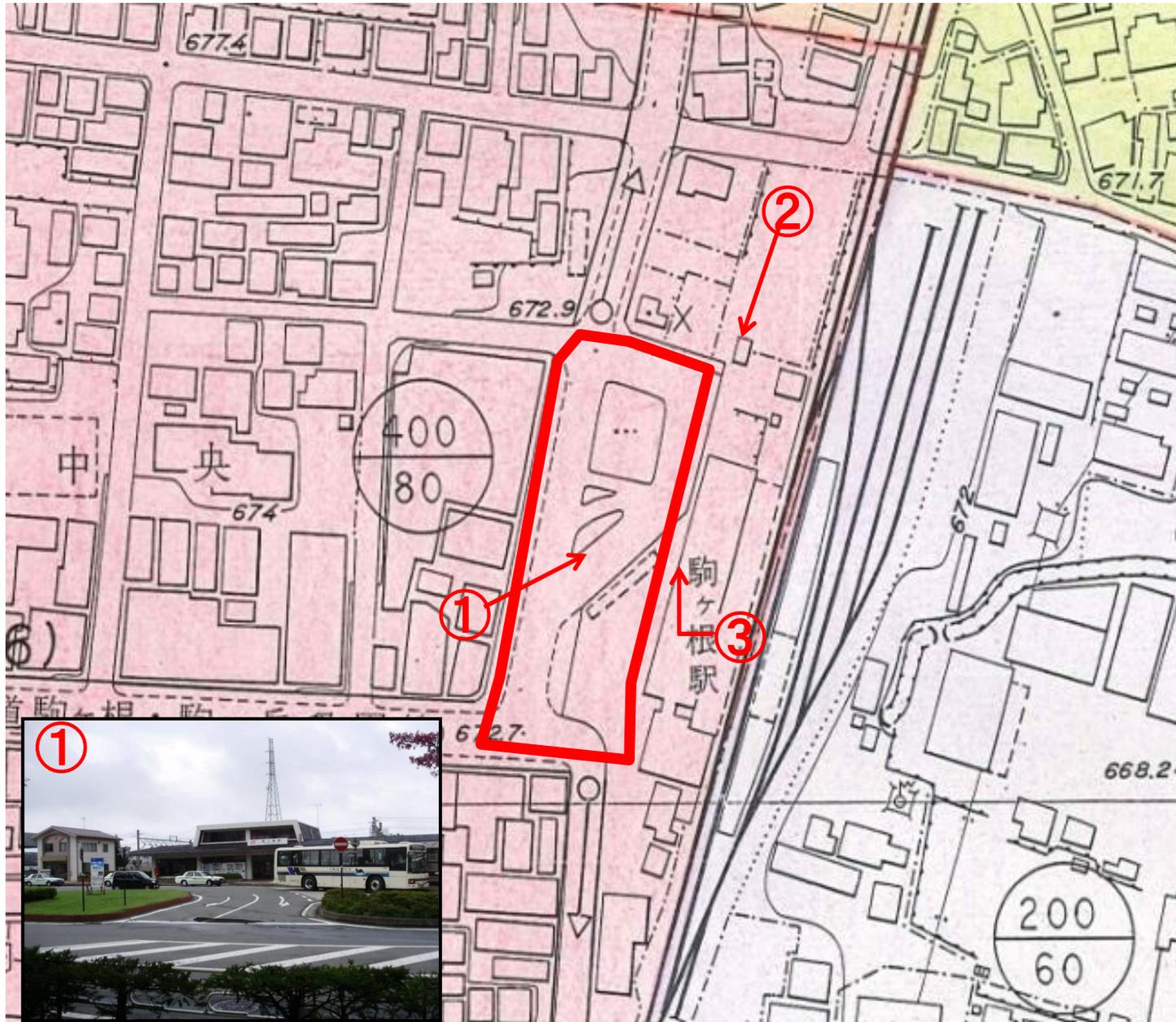
※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	賑わいの都市部エリア再構築		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成31年度 (6年間)	交付対象	長野県駒ヶ根市



効果促進事業(地方リノベーション事業) 駒ヶ根駅前広場 交付期間:H26~H27



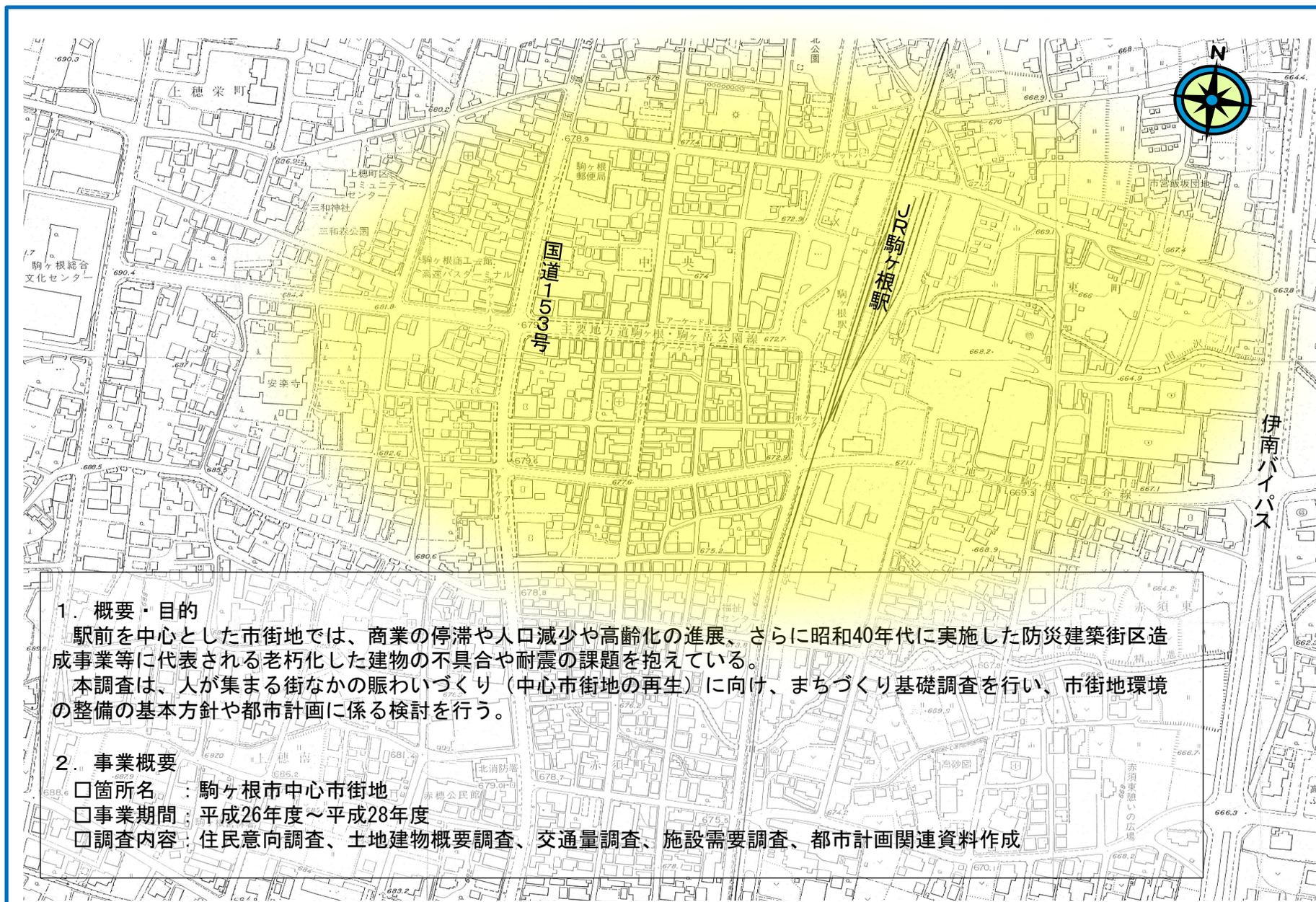
平成26 事業費	3,200千円
平成27 事業費	900千円
合計	4,100千円

凡例	
過年度	—
当該年度	—
翌年以降	—

効果促進事業(都市再構築事業) 広小路沿道街並み計画 交付期間:H26~H26



効果促進事業(都市再構築事業)まちづくり計画調査 交付期間:H26~H28



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 賑わいの都市部エリア 事業主体名: 駒ヶ根市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○